

静岡県議会だより



令和6年度県議会だより題字コンクール 特選作品 作者／岡田梨里さん(浜松学芸高校)

令和8年1月25日(日)

- 1面 新春の御挨拶
12月定例会ダイジェスト
2~3面 ピックアップ本会議
本会議・委員会を傍聴しませんか
4面 ピックアップ委員会
富士高校新聞部からの寄稿記事
県議会トピックス
写真コンクール「冬の部」入選作品
県議会だよりに寄せられたご意見
県議会クイズ



令和6年度県議会だより写真コンクール 冬の部特選「寒い朝」撮影者／佐野勝彦さん(富士宮市) 撮影地／富士宮市

12月定例会ダイジェスト

12月定例会は12月1日から12月19日までの19日間開催しました。開会日に、知事から令和7年度静岡県一般会計補正予算案など56議案が提出され、議案等の説明がありました。5日間にわたる代表質問および一般質問では17人の議員が登壇し、知事の政治姿勢や令和8年度当初予算編成方針、新県立中央図書館の整備方針など県政全般にわたり活発な議論を交わしました。

意見書の全文は、
こちらをご覧ください



意見書(件名)



「議案に対する
各会派等の賛否」は、
こちらをご覧ください

- 被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書
- 民生委員・児童委員の担い手確保と定着を求める意見書
- 労働時間法制の検討に向けた丁寧かつ建設的な議論を求める意見書
- 脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書

主な事業

- 物価高騰対策<60億5200万円>
[事業者支援]
 - ・医療・介護・障害・児童福祉施設、私立学校への物価高騰支援 ほか
 - ・生活者支援
 - ・LPガス料金の負担軽減 ほか
- 暮らしの安定<109億9400万円>
[医療従事者、介護・障害福祉施設職員、児童養護施設職員、保育士等の処遇改善(賃上げ) ほか]
- 台風15号による被害への対応
<2億800万円>
[被災した中小企業・小規模事業者の再建支援 ほか]

◆令和7年度静岡県一般会計補正予算
245億4700万円

可決した主な議案

このほか静岡県総合計画案について常任委員会で集中審査を行い、閉会後に計画案に対する提言を知事へ提出し、計画への反映を要望しました。

このほか静岡県総合計画案について常任委員会で集中審査を行い、閉会後に計画案に対する提言を知事へ提出し、計画への反映を要望しました。

静岡県議会議長
たけうち よしのり
竹内 良訓

新春の御挨拶

17件の決算を認定しました。
また12月15日には物価高への対応
暮らしの安定に向けた一般会計補正
予算案が追加提出されました。
その後、常任委員会で議案の詳細
な審査を行い、12月19日の最終本会
議では、常任委員長の審査結果報告
の後、採決を行い、全ての議案を可
決または同意しました。



県議会ホームページのご案内



インターネット版県議会だよりのご案内



県議会公式Xのご案内



ピックアップ 本会議

12月定例会本会議の質問と答弁から



飯田
12月9日午前
(自民改革会議)



鈴木
12月8日午後
(自民改革会議)



菅沼
12月8日午後
(自民改革会議)



岩田
12月8日午前
(自民改革会議)



望月
12月8日午前
(自民改革会議)



伊藤
12月5日午後
(自民改革会議)



桜井
12月5日午後
(無所属)



伴
12月4日午後
(ふじのくに県民クラブ)



加畑
12月4日午前
(自民改革会議)

代表質問



蓮池
12月5日午前
(公明党静岡県議団)



中谷
12月10日午後
(自民改革会議)



佐野
12月10日午後
(ふじのくに県民クラブ)



良知
12月10日午前
(自民改革会議)



増田
12月10日午前
(自民改革会議)



坪内
12月9日午後
(自民改革会議)



川崎
12月9日午後
(ふじのくに県民クラブ)



田中
12月9日午前
(ふじのくに県民クラブ)

一般質問



蓮池
12月5日午前
(公明党静岡県議団)

※二次元コードから各議員の質問の録画中継をご覧いただけます

会派別議員数

(令和8年1月19日現在)

自民改革会議	41人
ふじのくに県民クラブ	17人
公明党静岡県議団	5人
無所属	5人
定数68人	現員68人

A 本県のふるさと納税は令和6年度実績で約55億円、地方交付税補填後でも約12億円のマイナスとなった。収支均衡を中期的な目標とし、令和7年10月に增收に向けた部局横断の検討チームを発足、広域自治体ならではの魅力的な返礼品開発に加え、体験型のマイナスとなった。収支均衡を中期的な目標とし、令和7年10月に增收に向けた部局横断の検討チームを発足、広域自治体ならではの魅力的な返礼品開発に加え、体験型

Q ふるさと納税の取り組みの強化策は。

A ふるさと納税は令和6年度実績で約55億円、地方交付税補填後でも約12億円のマイナスとなった。収支均衡を中期的な目標とし、令和7年10月に增收に向けた部局横断の検討チームを発足、広域自治体ならではの魅力的な返礼品開発に加え、体験型

方債に頼る財政運営から脱却する。また歳入確保に向け未現と税収増加につなげる。

A 平成29年度以降、公共施設新設や県単独事業費の増加等により歳出規模が拡大した。歳入とのギャップを埋める対策が不十分で赤字地方債発行等による自転車操業が常態化し財政指標も年々悪化した。今後は財務の見直しを徹底し、中長期計画に基づく歳入歳出の管理により赤字地方債発行等による自転車操業が常態化し財政指標も年々悪化した。歳入とのギャップを埋める対策が不十分で赤字地方

Q 財政状況悪化の根本的原因と財政健全化の対策は。

行政

財政悪化の要因と今後の改善策

返礼品の充実等多様な検討を進めている。また企業版ふるさと納税の寄付拡充に向け企業を訪問し呼び掛けていく。企業を訪問し呼び掛けていく。

企業版ふるさと納税の寄付拡充に向け企業を訪問し呼び掛けっていく。

返礼品の充実等多様な検討を進めている。また企業版ふるさと納税の寄付拡充に向け企業を訪問し呼び掛けっていく。

返礼品の充実等多様な検討を進めている。また企業版ふるさと納税の寄付拡充に向け企業を訪問し呼び掛けっていく。

返礼品の充実等多様な検討を進めている。また企業版ふるさと納税の寄付拡充に向け企業を訪問し呼び掛けっていく。

A **Q** UCLG等国際ネットワーク活用の取り組みは。

A 新たな地域外交基本方針では、限られた人員・予算で県民や県内企業のメリッ

チ活用の取り組みは。

企業ニーズに即応する企業誘致策に向け体制を強化する。

A **Q** 持続可能な林業経営に向けた施策は。

A 森林は水を蓄え土砂の流出を防ぐなど公益的な機能を有するため、林業の持続性確保が重要である。デジタル情報の活用による森林の集約化や自動走行機械な

林業施策の推進

A **Q** 持続可能な林業経営に向けた施策は。

A 森林は水を蓄え土砂の流出を防ぐなど公益的な機能を有するため、林業の持続性確保が重要である。デジタル情報の活用による森林の集約化や自動走行機械な

水産物消費拡大の取り組み

活動の研究などにも着手する。

水産物消費拡大の取り組み



ピックアップ委員会 ~常任委員会の質問と答弁から~

総務委員会

Q 総合経済対策を盛り込んだ国の補正予算を受けた県の12月補正予算編成の考え方および今後の対応方針は。

A 県民や事業者に対する物価高騰対策、医療・福祉サービスなど暮らしの安定に必要な経費について、国の補助金等を最大限活用し早期に事業効果を発揮できるよう補正予算を編成した。今後も本県の未来への投資につながる積極的経済対策を講じていく。

厚生委員会

Q 介護分野の職員の賃上げや職場環境の改善等に要する経費に対する助成が、今後の継続的な賃上げに与える影響は。

A 今回の補正予算による助成は緊急的な対応であり、介護分野の職員の継続的な賃上げは令和8年度に予定されている介護報酬の改定によって図られると考える。補正予算成立後は効果の早期発現に向け速やかな執行に努める。

文化観光委員会

建設委員会

文教警察委員会

A 中国路線が減便となる富士山静岡空港の新規路線の就航に向けた考え方は、誘致先選定に当たっては、航空業界の動向や観光需要のほか産業交流の視点も勘案して運営権者と共に検討する。従来、東アジアが中心であったが、国際情勢の変化に柔軟に対応し、リスク分散の観点からベトナムやタイなどの東南アジアの新規路線誘致に向け取り組みを進めていく。

Q ツキノワグマ対策におけるハンター確保策は。本県ではクマの捕獲に関する知識や技術が不足しており、より多くのハンターの知識習得と技術力向上を図るために、東北地方などから経験豊富なハンターを招聘している。今後は捕獲技術や安全管理のノウハウを直接指導する研修を考えている。今後は捕獲を担う獣友会等から意見を伺い、対策内容も含めて検討していく。

A 転用には国の事前許可が必要であること、未消毒のため飲料水として利用できないこと、一般家庭に提供するための設備がないこと等の課題がある。緊急的に給水が必要になった場合に備え、令和8年1月に給水訓練を実施し、対応マニュアルの検証等を行っていく。

Q 2040年を見据えた県立高校の学校数の考え方および具体的な検討方針は。県全体の人口減少に伴う生徒数の減少を踏まえた適正規模の維持に必要な学校数を示した。具体的な検討はする見込みである。さらにグローバルデザインを踏まえ各市町や学校関係者と個別に協議し、地区ごとに進めていく。

A 物価高騰による維持修繕費の高止まりや利用者減少、資材価格高騰などにより収支悪化が長期化している地域鐵道、路線バス、離島航路、タクシー、トラック事業者が対象となる。燃料代を除くタクシーやオイルの交換、定期点検などの車両整備費用について支援する。

令和6年度 写真コンクール「冬の部」入選作品

「初冬に湧き上がる」

撮影者／山口勉さん(三島市)

「凧上げ」

撮影者／静岡市清水区

危機管理くらし環境委員会

産業委員会

県の未来への投資につながる積極的経済対策を講じていく。

A 介護分野の職員の賃上げは令和8年度に予定されている介護報酬の改定によって図られると考える。補正予算成立後は効果の早期発現に向け速やかな執行に努める。

「公立高校の在り方」をテーマに意見交換

9月5日に富士高校新聞部6名は、大石健司議員、山本彰彦議員と「公立高校の在り方について」をテーマに意見交換を行った。

公立高校の変革について

2033年度までに、富士地区的公立高校が再編される計画がある。再編の理由には将来の公立高校の受験者数の減少が挙げられた。その背景には、高校の授業料無償化により私立高校への入学のハードルが下がったことがある。

母校に入学したいという人を増やすために高校生ができることは少ないが、通っている公立高校の良さを発信し、問題解決に役立ちたい。

静岡県でもSNSを適正に利用するための特別委員会が開かれている。また、熱海での土石流の一件から、いち早く盛り土規制の条例が制定された。時代の流れに合わせ、時に全国の先駆けとなる動きをしていると知った。議会は時代だけでなく地域に合わせた政策を行おうとしている。そのためには私たち一人一人が声をあげることが肝要だと感じた。

「刷新される政治」



県議会トピックス

「県議会高校出前講座」

県議会では、若者世代に政治への関心を高めてもらうとともに、県議会を身近に感じてもらうため、議員が県内の高校へ出向き、生徒が興味や関心のあるテーマについて意見交換を行っています。

＜令和7年9月～11月実施＞

- ・富士高校
- ・伊豆総合高校
- ・静岡雙葉高校
- ・沼津市立沼津高校
- ・静岡北高校
- ・星陵高校
- ・掛川東高校

＜令和8年1月実施予定＞

- ・島田工業高校
- ・浜松湖北高校佐久間分校
- ・静岡農業高校



■プレゼントのご紹介

富士山の麓で生産される良質な牛乳から作るモツァレラは、ジューシーなミルク本来の風味と驚きの柔らかさが特徴です。「ふじのくに新商品セレクション2022」最高金賞を受賞した「富士山麓潤いモツァレラ」をはじめ、カマンベール、オリーブオイル漬け、おつまみチーズの4種類をセットでお届けします。

A 中国路線が減便となる富士山静岡空港の新規路線の就航に向けた考え方は、誘致先選定に当たっては、航空業界の動向や観光需要のほか産業交流の視点も勘案して運営権者と共に検討する。従来、東アジアが中心であったが、国際情勢の変化に柔軟に対応し、リスク分散の観点からベトナムやタイなどの東南アジアの新規路線誘致に向け取り組みを進めていく。

Q ツキノワグマ対策におけるハンター確保策は。本県ではクマの捕獲に関する知識や技術が不足しており、より多くのハンターの知識習得と技術力向上を図るために、東北地方などから経験豊富なハンターを招聘している。今後は捕獲技術や安全管理のノウハウを直接指導する研修を考えている。今後は捕獲を担う獣友会等から意見を伺い、対策内容も含めて検討していく。

A 転用には国の事前許可が必要であること、未消毒のため飲料水として利用できないこと、一般家庭に提供するための設備がないこと等の課題がある。緊急的に給水が必要になった場合に備え、令和8年1月に給水訓練を実施し、対応マニュアルの検証等を行っていく。

Q 2040年を見据えた県立高校の学校数の考え方および具体的な検討方針は。県全体の人口減少に伴う生徒数の減少を踏まえた適正規模の維持に必要な学校数を示した。具体的な検討はする見込みである。さらにグローバルデザインを踏まえ各市町や学校関係者と個別に協議し、地区ごとに進めていく。

A 物価高騰による維持修繕費の高止まりや利用者減少、資材価格高騰などにより収支悪化が長期化している地域鐵道、路線バス、離島航路、タクシー、トラック事業者が対象となる。燃料代を除くタクシーやオイルの交換、定期点検などの車両整備費用について支援する。

Q 12月定例会では、県の歳入確保に向け、部局横断の検討チームを発足し、静岡県ならではの魅力的な返礼品や体験型返礼品の充実などの検討を進めている。○○○○納税の取り組み強化策について質問がありました。

※○に該当するひらがな4文字をお答えください。
(ヒントは2面にあります)

